

図書館員のひみつの本棚 第18回

こんにちは。もう10月ですね！今年の読書フォーラムは11月23日（金祝）に「あいれふ」にて行われます。図書館では年代別（赤ちゃん・幼児・低学年・中学年・高学年）にそれぞれ対象をしづらったおはなし会を行う予定です。各おはなし会ごとに「たべもの」などのテーマも設けて行いますので、いつものおはなし会とは少し違った楽しみ方もできると思います。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております！高学年の会ではおはなし会の最後にブックトークも用意していますよ！また、今年で3回目のフォーラムとなります。第1回を記念して選定した「図書館員が選んだ100冊の絵本」を展示する部屋をご用意し、随時ご要望にお応えしてよみきかせも行う予定です。各図書館のパネル展示も同じ部屋で行いますので、図書館員とのふれあいのひと時をぜひお過ごしください！皆様のお越しをお待ちしております！

という訳で、今回の1冊目は「図書館員が選んだ100冊の絵本」の中から1冊後紹介したいと思います。

『三びきのやぎのがらがらどん』

マーシャ・ブラウン　え　せた　ていじ　やく　福音館書店　1050円　絵本
<お勧め年齢>

幼稚園★★★　小低学年★★☆　小中学年★★☆　小高学年★☆☆　中学生☆☆☆
高校☆☆☆　一般☆☆☆
(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

3びきのやぎのがらがらどんは、山のくさばでふとろうとでかけていきます。でもとちゅうのはしにはトロルがすんでいて、3びきを食べようとするのです。ちいさいやぎのがらがらどんからじゅんにはしをわたっていき、トロルに食べられそうになると次にはもう少し大きながらがらどんがくるからと言ってはしをとおりぬけます。さいごにおおきなやぎのがらがらどんがトロルの前にあらわれ…食べようとするトロルをやっつけてしまいます。

<子どもに手渡すときのポイント>

多くの子どもが知っている絵本ですが、何度も読んでも楽しめる1冊です。3びきのがらがらどんそれが橋を渡る時の音やトロルとのやりとりに、それぞれの大きさにあった表現が使われていて子ども達を惹きつけます。よみきかせ初心者にもお勧めの1冊です。まだ読んだことのない方も、既にご存知の方も、この機会に手にとってみてください。



今回はもう1冊紹介しましょう！

『はがぬけたときどうするの？ せかいのこどもたちのはなし』
セルビー・ビーラー 文 ブライアン・カラス 絵 こだま ともこ 訳
フレーベル館 1470円 科学絵本

<お勧め年齢>

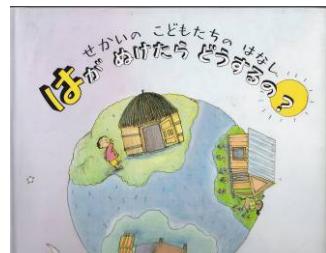
幼稚園★☆☆ 小低学年★★★ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆
(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

皆さんは歯がぬけたことはありますか？ありますよね。人間の歯は子どもの歯と大人の歯の2種類があって、子どもの歯から大人の歯へと変わるとき歯が自然に抜けるしくみになっています。さて、皆さんはぬけた歯をどうしましたか？お父さんやお母さんに言われて屋根の上や床の下に投げた人も多いのではないでしょうか。そう、日本では抜けた歯を歯の伸びる方向に投げると（下の歯は屋根の上、上の歯は床の下）丈夫な歯が生えると言われています。けれども、これは全世界共通ではないのです。アメリカやエジプト、ヨーロッパそれに違うやり方で丈夫な歯が生えるように祈る習慣があるのです。果たしてそれはどんな方法なのでしょう？この本は一つ一つの国の習慣が短い文章と絵で紹介されています。読むのが少し苦手という人にもおすすめです。

<本を手渡す時のポイント>

歯が抜けるという体験は小学生以上なら誰でも経験した身近な体験なので、どんな子どもでも興味を持つ1冊です。また、この本にはいろいろな国の習慣が載っていて大人がみても「そうなんだ！」という発見がたくさんあります。ご家庭で家族と一緒にページをのぞいてみるのもいいかもしれません。普段はあまり読書に関心を示さないお父さんでも、「へ～なるほど」と身を乗り出すこと間違いなしです。本の最後には歯についての知識も丁寧に紹介してあるので、歯の大切さや名前を知ることもできます。ぜひご家族で手にとってみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

早良図書館 吉岡 さやか